



混住化が進む地域における活動組織の設立

農地・水にししま水土里会（宮崎県宮崎市）^{みやざきし}

- 本地区は、稲作を主体に、キュウリ、トマトなどの施設園芸も盛んな地域である。市街地に近く国道沿いの立地であるため、住宅や店舗が広がるなど混住化の進行により、地域活動に対する意識が希薄化し、農家のみでの施設の保安全管理が困難となりつつあった。
- 近隣で他の活動組織が活発に活動している状況を見た本地域の中心的農家が共同活動の取組への機運を高め、制度の勉強会などを行い、他の農家や自治会等に参加を呼びかけた。
- このほか、市による組織の立ち上げ支援や土地改良事業団体連合会への事務委託の活用により活動の開始に至った。

【地区概要】

- ・取組面積 55ha（田 47ha、畑 8ha）
- ・資源量 開水路18.2km、農道2.9km、ため池 7箇所
- ・主な構成員
農業者、土地改良区、自治会等
- ・交付金 約4百万円（H29）
農地維持支払
資源向上支払（共同）

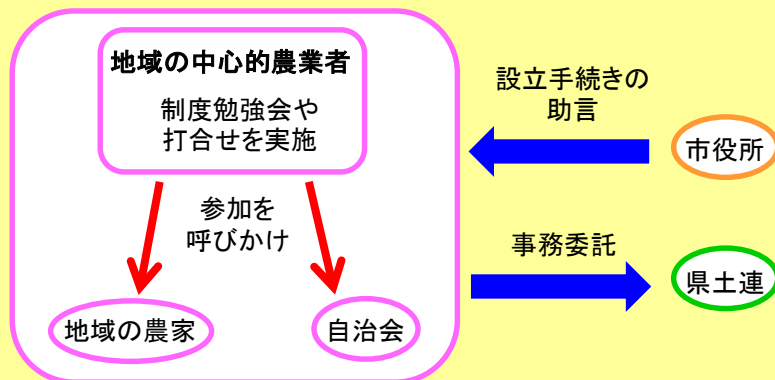
地域の現状



地域の状況

- ・ 宮崎市中心部より北に約9kmに位置し、稲作を主体に施設園芸も盛んな地域である。
- ・ 市街地に近いことから混住化が進行しており、地域活動に対する意識の希薄化や農家の高齢化により、地域資源の保安全管理が困難となりつつあった。

活動組織の立ち上げ



- ・ 農家だけの施設の保安全管理が困難になりつつあることや、近隣で他の活動組織が活発に活動している状況を受けて、多面的機能支払交付金に取り組む機運が高まった。
- ・ 地域の中心的農業者が、組織立ち上げに向けて制度の勉強会や打合せを繰り返し実施した後、地区内の農家や自治会等に参加を呼びかけた。

- ・ 組織設立にあたり、手続き等で不明な点については、市役所の助言を受けることで解決した。
- ・ 事務処理については、一部を県土連に委託することとした。

<主な取組内容>



水路の草刈



ため池の草刈



コスモスの植栽